

芸文 TOPICS

「芸文 30 周年記念の集い」 盛大に開催！

2025（令和7）年9月27日（土）に、芸能文化科（以下「芸文」）30周年を記念する集いが開催されました。秋風が心地よい季節に、約70人の卒業生が集まり、懐かしいひとときを過ごしました。

現役の1年生が34期生となる芸文ですが、2025年の春に30期生が卒業したことを記念し、今回の開催となりました。

会場は、芸文1期生の方が経営されている「炭火焼鳥瑞炎」で行いました。

1期生から30期生まで、残念ながら参加できなかった期もありましたが、幅広い世代の卒業生が集まりました。

久しぶりの再会に、あちこちで話に花が咲き、会場は賑やかな笑顔に包まれました。

鬼籍に入っておられる初代学科長の仲先生、また、元講師で2025（令和7）年9月25日に永眠された新野新先生も、きっとこの賑やかな集いを天国からご覧になっていたことでしょう。

参加された方々からは、「楽しい会に参加できて本当に良かった」「芸文の持つ力や団結力を改めて感じられた」といった嬉しい感想が寄せられました。

これからも卒業生として芸文を応援し続けたいというお気持ちも伺え、この集いが卒業生の皆様の絆をさらに深める機会となったと思います。

炭火焼鳥瑞炎
大阪府大阪市北区芝田 1-15-21
TEL:06-6377-0009
<https://zuenumeda.owst.jp/>



写真提供：芸能文化科



「桂九寿玉さん初めての独演会」 山口 文子（普通科18期生）

2025（令和7）年10月5日（日）生野区光徳寺で、桂九寿玉さん（芸文科25期生）の初めての独演会が行われました。

早めに会場に入ると、正面の席にはもう何人かのお客様が、座っておられました。

本日の演目は「牛ほめ」「元犬」仲入り後「茶の湯」お楽しみ抽選会という充実した内容でした。いよいよ九寿玉さんが登場されると満席の会場からは、期待を込めた拍手がわき起こりました。

落語は想像力が培われるので、幼い頃から自分で考えて空想することが好きな少年には、一番合っていた道のようなでした。

桂九雀師匠にずっと憧れていた桂九寿玉さんは、芸文を卒業するや否や入門をされました。

独演会が無事に終了して、見事にくす玉が割れると、応援に駆け付けた恩師の先生や同級生のみんなで、喜びを分かち合いました。

独演会が終わって、今一番やりたいことは？と尋ねると「ウールの着物の洗濯がしたいです。」という意外な答えが返って来ました。

あくまでも真面目でストイックな九寿玉さん。夢は、九雀師匠のような芸の域に達して「茶の湯」の演目を、演じたいとのことでした。

どこまでも芸に^{しんし}真摯に向き合っている九寿玉さんのこれからのご活躍が楽しみです。



桂九寿玉さん



ヒガスミニュース 大会出場の部活動に激励金を手渡しました

2025（令和7）年7月に香川県で開催された第49回全国高等学校総合文化祭に書道部の勝野桃花さんが作品を出品することになり、2025（令和7）年6月4日（水）に校長室にて激励金を贈呈しました。

2025（令和7）年10月、滋賀県で開催された近畿新入水泳競技大会に出場した水泳部の石津孝介さん、中田匡哉さんに2025（令和7）年10月22日（水）校長室にて激励金を贈呈しました。